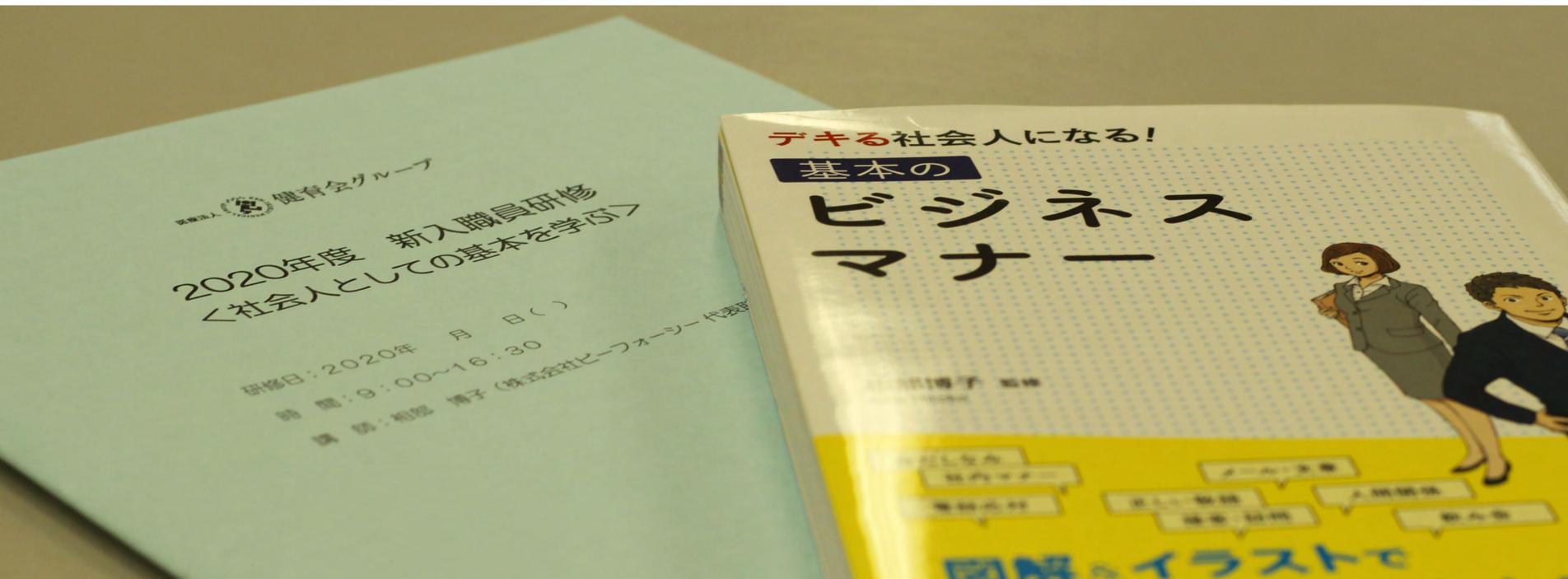


本年は148人の新社会人を迎えました

医療法人社団 健育会 理事長 竹川 節男



2020年4月、健育会グループは、148名の新入職員を迎え入れました。例年は入職後の4月に、北海道石狩市の花川病院敷地内にある研修施設「ブルーハウス」で、社会人としての基本や心構えを学ぶための集合研修を実施しています。しかし、今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響により研修を延期。6～7月にかけて講師が各病院・施設を訪問し、個別の研修を行いました。

4月7日に緊急事態宣言が発令され、健育会グループでは今年の新入職員研修をどうするか協議を続けてきました。5月25日に緊急事態宣言が解除、6月19日には都道府県をまたぐ移動の自粛が緩和されたことに合わせて、新型コロナウイルス感染対策を考慮し、今年は個別研修を実施することになりました。研修を実施するに当たり、ソーシャルディスタンスを保った会場の設定や参加者のマスク着用、研修開始前の検温、定期的なアルコール消毒と換気の実施など感染予防を徹底し、入念な準備を行いました。

新入職員研修の講師は、株式会社ビーフォーシーの相部博子先生にお願いしました。相部先生には、長年この研修でお世話になっています。今年はコロナ禍で異例の対応となったにもかかわらず、快くお引き受けいただき、改めて感謝申し上げます。



新入職員研修を実施したのは、6月29日から7月27日のうち12日間、計8会場でした。日程は下記の表の通りです。

6月29日 (月)	竹川病院・ケアポート板橋
7月1日 (水)	竹川病院・ケアセンターけやき
7月2日 (木)	ねりま健育会病院
7月3日 (金)	湘南慶育病院
7月6日 (月)	湘南慶育病院
7月7日 (火)	石川島記念病院
7月10日 (金)	石巻健育会病院
7月13日 (月)	熱川温泉病院・西伊豆健育会病院
7月14日 (火)	熱川温泉病院・西伊豆健育会病院
7月17日 (金)	いわき湯本病院
7月20日 (月)	花川病院
7月27日 (月)	ねりま健育会病院

例年の研修では2泊3日で行っていますが、今年は1日に短縮したプログラムになりました。まず、あいさつやお辞儀の仕方、名刺の渡し方、社会人としての基本的なマナー・ルールなどの研修です。名刺交換は、学ぶ機会はもちろん、勤務中に行うことも減多にありません。研修では疑似名刺を準備し、名刺交換を体験する貴重な機会になったはずです。

次に、上司への“ほうれんそう（報告・連絡・相談）”の仕方。情報や事実を、簡潔かつ正確に伝えることは実際に業務を遂行する上でとても重要です。今回の研修では、結論を先に述べてから根拠を具体的に示す「PREP法」＝Point（結論）＋Reason（理由）＋Example（例）＋Point（結論）の順に伝える方法をご指導いただきました。

続いて、医療職としての接遇、患者さんやご家族への対応についてです。健育会グループでは、医療はサービス業と捉えています。他のサービス業と同様に接遇の基本を学ぶことはもちろん、医療職としてふさわしい接遇についての講義がありました。さらに、患者さんが医療者に期待するスタッフのイメージや理想の自分の姿をイメージするといった、自分たちで考えることも行いました。

そして最後に、新入職員が陥りやすい“うっかり”に関して。医療職は、患者さんの命に関わる大きな責任を伴う仕事です。自分で分からないこと、対応できないことをあいまいにするのではなく、それらはすぐに上司に報告し、判断を仰ぐことの重要性について教えていただきました。



1日間の短縮したプログラムではありましたが、大変密度の濃い研修になりました。例年であれば、私も新入職員研修の中で皆さんに社会人としての心構えについて話をしますが、今年は秋に予定しているフォローアップ研修で話をしたいと思っています。新社会人の皆さんが今回の研修で学んだことを日々の業務の中で実行し、1日も早く健育会グループの一員として独り立ちできることを期待しています。